

授業科目

相談援助各論II

【担当教員名】 笠 井 友治郎	対象学年	3	対象学科	社会
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	30

【概要・一般目標 : G10】

集団援助技術（グループワーク）について、理論、価値・倫理および方法・技術について体系的に学ぶ。

【学習目標・行動目標 : SBO】

1. グループとは何か、グループの構造、グループの発達、グループと個人の関係、個人にとってグループの意義を理解する。
2. 集団援助技術（グループワーク）成立過程と諸理論（アプローチ）について理解する。
3. 集団援助技術（グループワーク）の援助展開過程を理解する。
4. 集団援助技術（グループワーク）の援助展開過程で用いられる専門技術についてを理解・習得する。

回数	授業計画・学習の主題	SBO番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	オリエンテーション		講義
2	グループとは何か。ソーシャルワーク方法論の中でグループを活用する意味を学習する。		講義
3	人間の成長・発達とグループとの関わりの意義を学習する。		講義
4	グループの構造と機能を学習する。		講義
5	グループワークの成立過程を学習する。		講義
6	グループワークの定義・原理・原則を学習する。		講義
7	ソーシャルワークの機能と相互援助システムについて		講義
8	グループワークの展開過程について 1		講義
9	グループワークの展開過程について 2		講義
10	グループワークの展開過程で用いられる専門技術について 1		講義
11	グループワークの展開過程で用いられる専門技術について 2		講義
12	グループワークの展開過程で用いられる専門技術について 3		講義
13	グループワークの展開過程で用いられる専門技術について 4		講義
14	全体のまとめ 1		講義
15	全体のまとめ 2		講義

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年・価格 他＞
教科書 (必ず購入する書籍)	シリーズ基礎からの社会福祉 2 社会福祉援助技術論	基礎からの社会福祉編 ミネルヴァ書房 集委員会		2,600円
参考書	グループワークの専門技術：対人援助 黒木保博 [ほか] 著 のための77の方法 「グループ」という方法	中央法規出版 武井麻子著		2001
その他の資料			医学書院	2002

【評価方法】

出席状況及び受講態度 (40%)
最終試験 (60%)

【履修上の留意点】